



ご存知ですか？ 高齢者の暮らしを支援する 町の福祉サービス



地域福祉センターほのか
須貝 介護支援専門員

高齢者の生活を支援するために、町では社会福祉協議会と連携してさまざまな福祉サービスを提供しています。詳細については、広報紙や小地域ネットワーク等で周知を行っていますが、実際には見過ごしてしまうことも多く、いざ必要なときにサービスが利用できずに困難な状況が長期間続いてしまうことがあります。以下、サービス利用例の一部を紹介します。

■除雪が困難な方

⇒除雪サービス、軽度生活援助事業の利用

■調理や掃除などの家事が困難な方

⇒ホームヘルパーの派遣、配食サービスの利用

■通院が困難な方

⇒町内受診は介護移送サービス、町外受診は高齢者介護移送費助成事業によるタクシーの利用

■持病等を抱えひとり暮らしに不安がある方

⇒ホームヘルパーの派遣、配食サービスの利用による安否確認、安心カードの設置又は緊急通報システム事業の利用

■閉じこもりがちで身体機能の低下が不安な方
⇒まんてんクラブ、はつらつ筋力トレーニング事業の利用、デイサービス事業の利用

■起き上がりが困難、入浴時の転倒が不安な方
⇒立ち上がり支援バーの貸し出し、浴用手すり等の購入費助成、住宅改修費助成制度や介護保険住宅改修制度利用による手すりの設置

サービスの利用者やそのご家族の方からは、「タクシー利用で町外の病院受診ができるようになり助かった」「安心カードの設置で緊急時に入院先から家族へすぐに連絡が取れてよかったです」等の声が寄せられています。福祉サービスの利用により全てが解決するわけではありませんが、精神的・身体的・経済的な負担を軽減できることもあります。お困りの点、お気付きの点がありましたらどうぞお気軽に地域福祉センターへお問い合わせください。ご相談をお待ちしています。

地域福祉センター ☎52-3333

人の動き

●世帯数	1,546世帯（-1世帯）
●人口	3,281人（+3人）
●男1,540人（+2人） 女1,741人（+1人）	

平成25年2月28日現在（）内は1月末比

喜びと悲しみ（敬称略）

■ご出生おめでとうございます

○森脇裕次郎 女児 凜（りん） 豊住第二 2/22

■お悔やみ申し上げます

○伊東 幸子	80歳	常楽園	2/13
○澤目 直喜	91歳	勝山公新	3/7
○酒井 義勝	87歳	心和	3/12
○湊谷 昭男	86歳	秋田	3/12

編集後記

○朝夕はまだまだ寒い日が続く置戸でも、ネコヤナギの芽が膨らみ、春の訪れ間近を告げています。

○ネコヤナギは雌雄異株で、和名の由来となり、生け花にもよく用いられるという特徴的なふんわりとした銀白色の芽は、雄株が咲かず花穂。また、樹液はスズメバチの好物であるため昆虫採集の際には注意が必要ですが、カブトムシやクワガタが集まりやすい樹もあるようです。

○ネコヤナギの花言葉が「自由」「気まま」というのもたしかに猫を連想させるもので、大きく頷けます。

（お）